

2021年7月9日
一般社団法人日本零売薬局協会
理事長 服部雄太

当協会の見解について

2021年6月24日付のニュースにて、「医療用薬で「サブスク」、定額制サービスを開始へ 都内の零売薬局、FC方式で導入呼び掛け」という記事が配信されました。本記事には消費者、患者による必要以上の購入を防ぐ対策も講じる上で、「月額980円など3つのコースを用意し、患者は薬剤師と相談の上、症状に応じた医薬品を決められた範囲内で何度でも購入できる仕組み」という内容、サービスとの記載がございます。

本記事に掲載されている零売薬局は当協会に所属している会員企業ではございません。そもそも零売では、「一般用医薬品では対応できないやむを得ない場合に、必要最小限の数量を販売する」という厚生労働省の通知があります。この医療用薬のサブスクリプションに関しては、零売のルールからも外れており、消費者、患者に安全にサービスを提供できると思えません。

また、正しく零売を運営している、これから零売に参入しようとしている事業者へも誤解を与え、信頼を損ないかねない内容であり、当協会としては認められるものではありません。

当協会としては、自主基準及び関連法規をしっかりと遵守しながら、消費者、患者に安心、安全にサービスを提供できるように会員企業にも引き続き、周知、教育をして参ります。

以上